

このまちの100年

「丸の内」

大正初期に東京駅が開業、東京の中心駅として発展をはじめました。戦前期より日本の経済を支えたほか、交通・通信の中心地としても発展。近年はオフィス街の高層化も進んでいます。



大正後期～昭和戦前期

関東大震災では、丸の内駅舎の損壊はなく、延焼も免れた



昭和30年代

東京中央郵便局新局舎の機能や構造は世界最高水準といわれた



昭和8年頃

東京住友ビルディング竣工当時の様子。跡地は現在、三井住友信託銀行本店ビル



昭和5～10年頃

三井合名会社と三井信託銀行（現在の三井住友信託銀行）の共同事業として建設された、三信ビルディング（写真右側）



昭和30年代

戦後オフィスビルの需要が急増した。左が丸ビル、右が新丸ビル



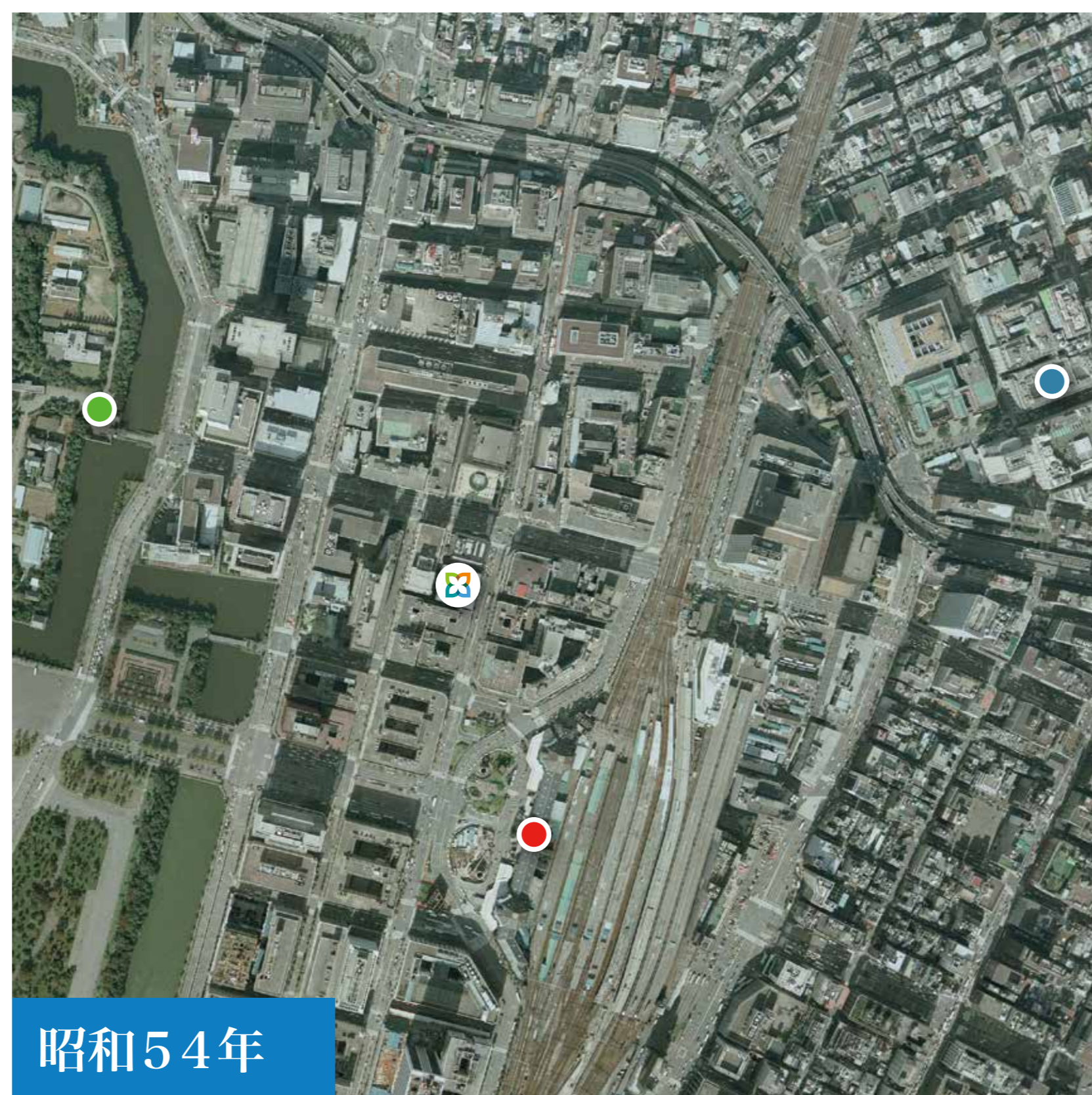
昭和30～40年代

昭和39年に東海道新幹線開業。平成3年には東北新幹線も乗り入れた

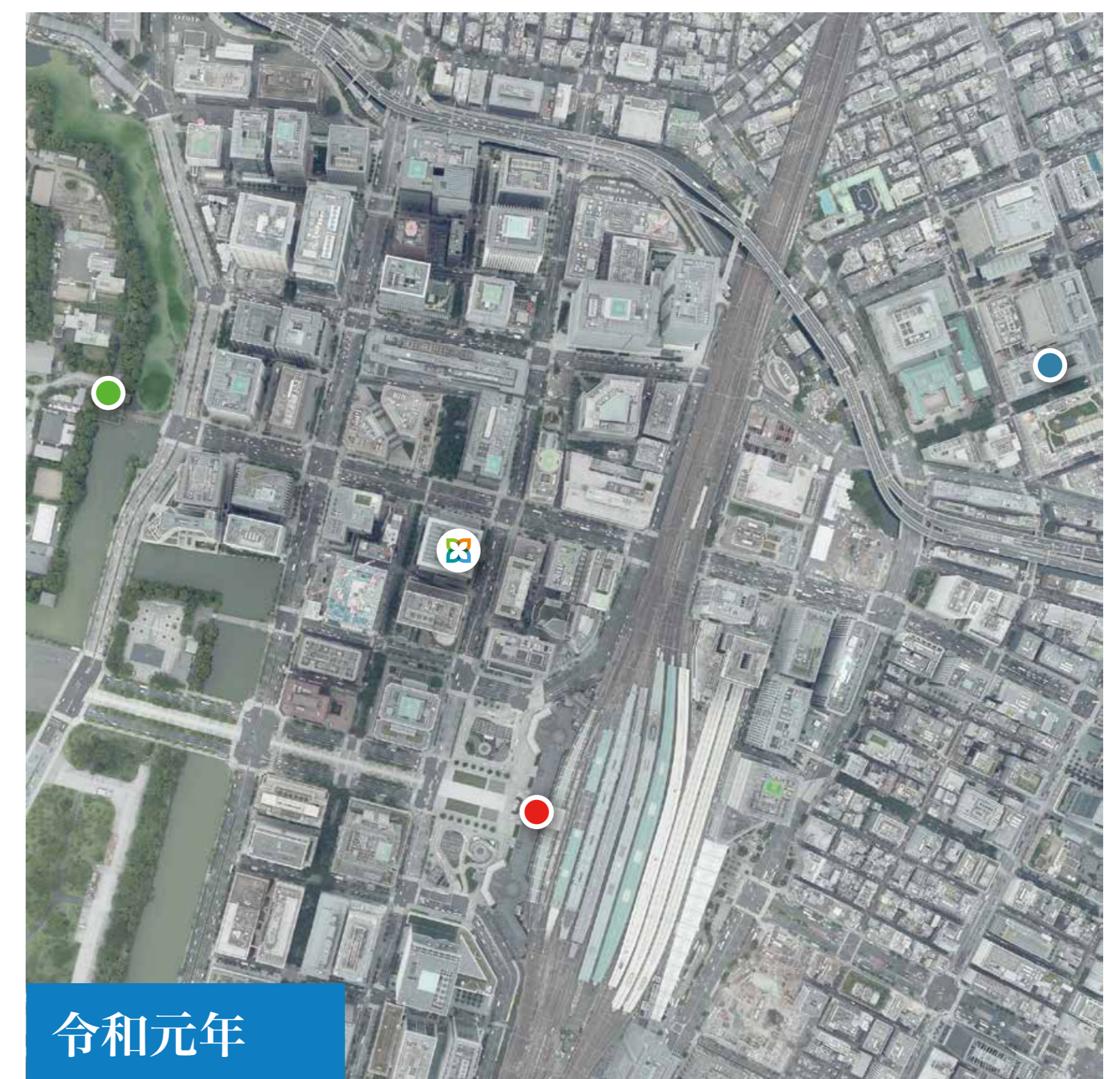
上空からみた丸の内エリア



昭和11年



昭和54年



令和元年

: 現在地
 : 三井本館 : 大手門 : 東京駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ